

INFORMATION

臨床実践の現象学会 第3回大会

主催者からのメッセージ：臨床実践の現象学会では、“事象そのものへ”立ち返ることをモットーとした現象学的研究を、多学問領域及び多実践領域の皆様とともに吟味し、本研究領域の学問としての成熟をめざしています。

第3回大会では、さまざまな分野における現象学的研究の演題発表と、特別企画として「身体」という事象に多領域からアプローチする大RTDを展開します。

皆様のご参加をお待ちしています。

開催日時：2017年8月6日(日)9時～17時30分

場所：東京大学本郷キャンパス

大会長：榊原哲也(東京大学)

大会テーマ：現象学だからできること

プログラム：

〈特別企画〉大RTD(ラウンドテーブルディスカッション)「身体経験の成り立ち」

松本俊彦(国立精神・神経医療研究センター)・伊藤亜紗(東京工業大学)・西村ユミ(首都大学東京)

〈一般演題〉

事前参加登録期間：2017年6月12日(月)～7月20日(木)

参加費：2000円

参加申し込み方法：詳細はHPをご覧ください。

<http://clinical-phenomenology.com/meeting/>

問い合わせ先：

E-mail:clinical.phenomenology@gmail.com(西尾美里)

日本質的心理学会 第14回大会

主催者からのメッセージ：十数年にわたって行われてきた日本質的心理学会の活動、そして多分野で組み込まれている質的研究は、社会に、学問に、そして私たちの暮らしに、いかなるインパクトを与えてきたのでしょうか、そもそも“質的”に何をめざしてきたのでしょうか、その目的に手は届いたのでしょうか。そして、今後いかなる方向に向かっていこうとしているのでしょうか。学際的な研究活動を進める本学会は、明確な1つの目的のみに向かっているわけではありませんが、多様性とそこに生まれる差異は、質的研究の新たな方向性を生み出すエネルギーとして

私たちの背を押してくれるに違いありません。今学会にて充実した議論ができることを楽しみにしています。

開催日時：2017年9月9日(土)、9月10日(日)

場所：首都大学東京荒川キャンパス

大会長：西村ユミ(首都大学東京)

大会テーマ：からだことば～問い直し、こわし、つくる～

プログラム：大会メイン企画(10日午前・公開講座)対談「からだことば」谷川俊太郎(詩人)・細馬宏通(滋賀県立大学教授)・西村ユミ(司会・大会長)／大会企画シンポジウム(10日予定)APAの質的研究論文評価基準を読む(予定)代表企画者：能智正博(東京大学)／委員会企画シンポジウム／『質的心理学研究』編集委員会企画シンポジウムなど

参加費：会員5000円、非会員6000円、学生3000円

参加申し込み方法：大会HPより事前登録

<http://www.shitsushin14.jp/index.html>

問い合わせ先：

E-mail: shitsushin14@gmail.com

日本質的心理学会 第14回大会 準備委員長 西村ユミ